

令和5年3月23日

古賀市議会
議長 結城 弘明 様

補正予算審査特別委員会
委員長 村松 謙二

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件について3月7日に委員会を開催し、その審査結果を会議規則第110条の規定により報告します。

記

補正予算審査特別委員会に付託を受けておりました、第18号議案令和4年度古賀市一般会計補正予算（第6号）についてから第22号議案令和4年度古賀市下水道事業会計補正予算（第3号）についてまでの5議案について、審査の経過と結果の報告をいたします。

審査に際し、副市長をはじめ関係部課長等の出席を求め、各補正予算案の概要説明を受けるとともに、各委員からの資料要求に基づく資料を参考に審査をいたしました。審査の経過につきましては、議長を除く議員全員での特別委員会であり、内容等を含め御承知のとおりでありますことから、詳細は省略し、概要のみの報告とさせていただきます。

第18号議案令和4年度古賀市一般会計補正予算（第6号）についての審査概要としまして、歳出では、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金、私立保育園整備支援事業補助金、拠点形成事業補助金、燃料費高騰対策運送事業者等支援金、学校施設管理事業費、健康文化施設（クロスパルこが）不可抗力発生費用負担金について、歳入では、地域脱炭素再エネ導入計画づくり支援事業補助金、基金積立金について、また、繰越明許費について、さらに、補正予算全般として、補正予算案の提案理由の説明方法について等の質疑を行いました。

討論では、新型コロナウイルス感染症や燃料費・物価高騰の影響下における生活困窮者、事業者に対し、十分な支援ができたのか否か、事業見込みに対する予算執行率の低さから、事業内容に不備があったのではないかと思ひ、反対といった討論や、地方交付税や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の額が確定したことで、歳出において様々な基金積み立てを行うことができた。一方、

燃料費高騰対策運送事業者等支援金は、予算執行率が36.8%と課題を残した。事務手続の煩雑さや対象者の把握方法などについては教訓があったと思う。今後の制度設計に反映されることを期待して賛成といった討論がありました。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第19号議案令和4年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）についての審査概要としまして、質疑、討論はなく、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第20号議案令和4年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）についての審査概要としまして、質疑、討論はなく、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第21号議案令和4年度古賀市水道事業会計補正予算（第3号）についての審査概要としまして、質疑、討論はなく、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第22号議案令和4年度古賀市下水道事業会計補正予算（第3号）についての審査概要としまして、質疑、討論はなく、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。